

FUJITEC

2025年3月期第2四半期 連結業績概要

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)



2024年11月8日

フジテック株式会社

(東京証券取引所プライム市場: 6406)



2025年3月期第2四半期連結業績概況

- ◆ 全般概況：受注額・売上高・営業利益・経常利益・EPSなどで第2四半期として過去最高値を更新
- ◆ 受注状況：日本、南アジア、米州・欧州で半期受注は過去最高を更新
 - ・ 新設事業は南アジアで好調を継続
 - ・ アフターマーケット事業は全セグメントで拡大
 - ・ 保守台数は前年同期比で約5%増加
- ◆ 売上状況：日本、南アジア、米州・欧州で半期売上は過去最高を更新
 - ・ 新設事業は東アジアを除き、いずれも2桁増と好調
 - ・ アフターマーケット事業は全セグメントで拡大
- ◆ 営業利益：日本、南アジアで半期営業利益は過去最高を更新
 - ・ セグメント別では、特に日本の収益向上が大きく、全体に貢献

中期経営計画「*Move On 5*」の進捗状況

Mid-Term BUSINESS PLAN 2024-2028

- ◆ 各セグメントで事業成長に向けた施策を計画どおり推進
 - ・ 中国： 新領域拡大に向けた商品と販売施策の構築を推進
 - ・ シンガポール・インド： 保守事業効率化への取組を推進
 - ・ 北米： 事業領域拡大に向け商品拡充
- ◆ 収益性向上施策を分科会において計画どおり推進



渋谷サクラステージ

2025年3月期第2四半期連結業績概況

第2四半期 連結業績ハイライト

FUJITEC

受注額・売上高・営業利益他、下記全項目において第2四半期として過去最高値を更新

(金額単位：百万円未満切捨)

	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	増減率(%)
受注高	121,415	128,054	5.5
売上高	107,024	116,759	9.1
営業利益	8,390	8,861	5.6
経常利益	10,711	10,723	0.1
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,721	8,199	6.2
1株当たり中間純利益	98.99円	105.08円	-

対米ドル円為替レート

134.49円

150.85円

第2四半期 セグメント別業績ハイライト

受注はアフターマーケット事業が伸び、全地域で拡大。売上・営業利益は東アジアを除き増加

<事業別>

(金額単位：百万円未満切捨)

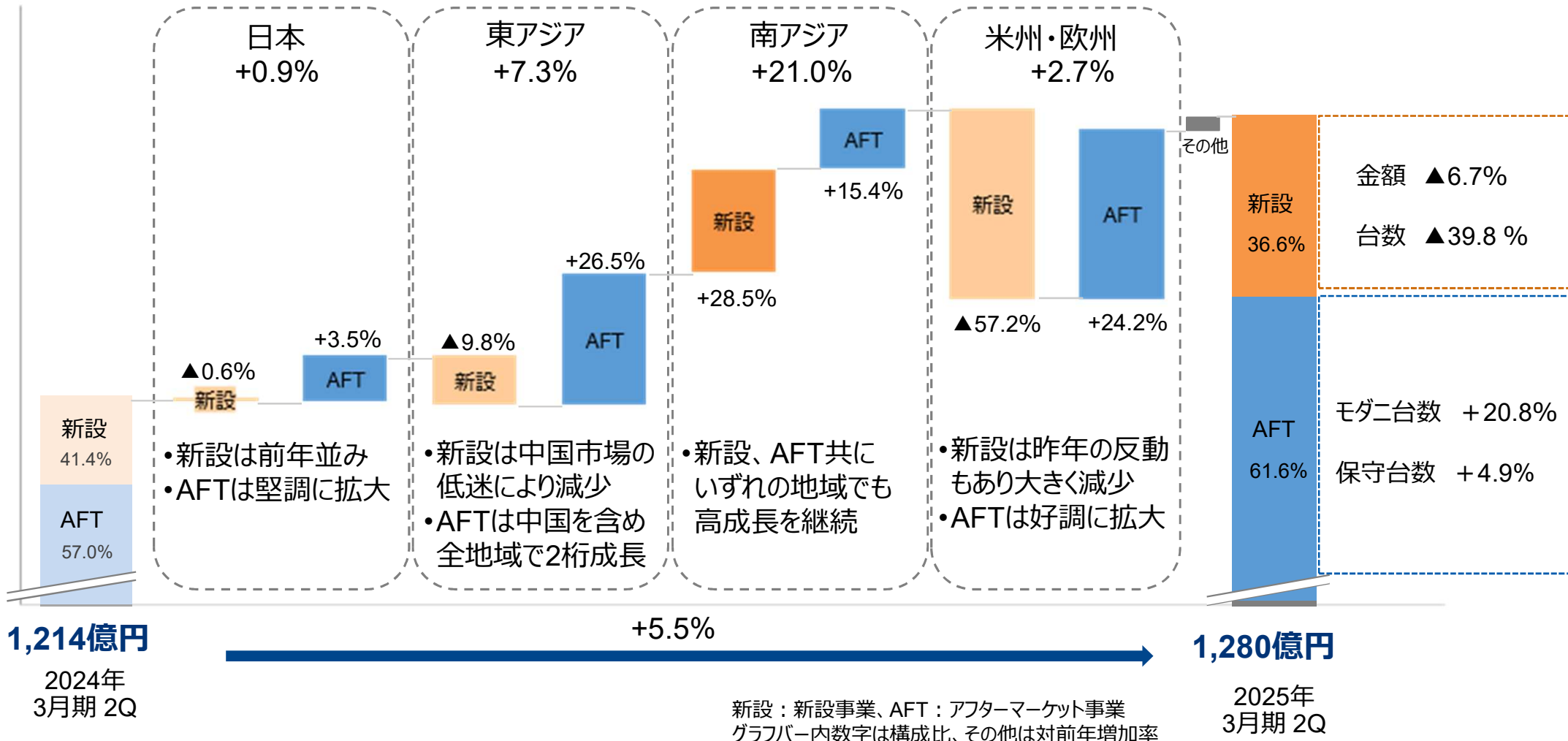
	受注			売上高		
	2024年3月期2Q	2025年3月期2Q	増減率(%)	2024年3月期2Q	2025年3月期2Q	増減率(%)
新設	50,298	46,918	▲6.7	45,390	46,691	2.9
アフターマーケット	69,216	78,865	13.9	60,268	68,335	13.4
その他・調整額	1,901	2,271	-	1,366	1,734	-
合計	121,415	128,054	5.5	107,024	116,759	9.1

<エリア別>

	受注			売上高			営業利益		
	2024年3月期2Q	2025年3月期2Q	増減率(%)	2024年3月期2Q	2025年3月期2Q	増減率(%)	2024年3月期2Q	2025年3月期2Q	増減額
日本	54,719	55,198	0.9	39,442	43,640	10.6	2,171	3,664	1,492
東アジア	31,119	33,381	7.3	38,994	35,031	▲10.2	2,723	1,242	▲1,480
南アジア	18,180	21,997	21.0	15,199	18,172	19.6	3,095	3,341	246
米州・欧州	24,448	25,096	2.7	20,560	27,150	32.1	587	700	112
調整額	▲7,053	▲7,620	-	▲7,172	▲7,234	-	▲187	▲86	100
合計	121,415	128,054	5.5	107,024	116,759	9.1	8,390	8,861	471

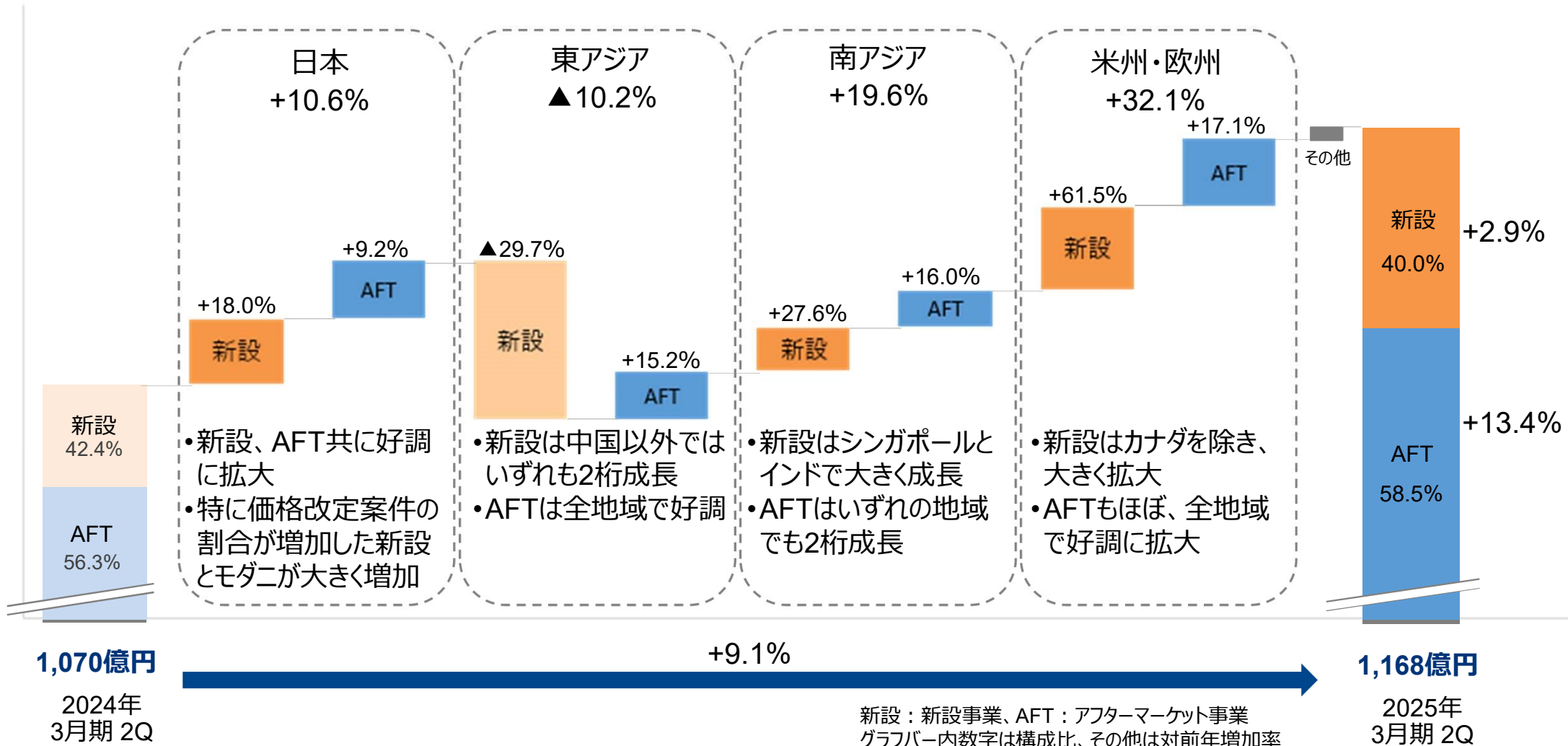
第2四半期 受注高ブレークダウン

新設受注は南アジアで大きく成長。アフターマーケット事業は全地域で拡大し、保守台数は約5%増加



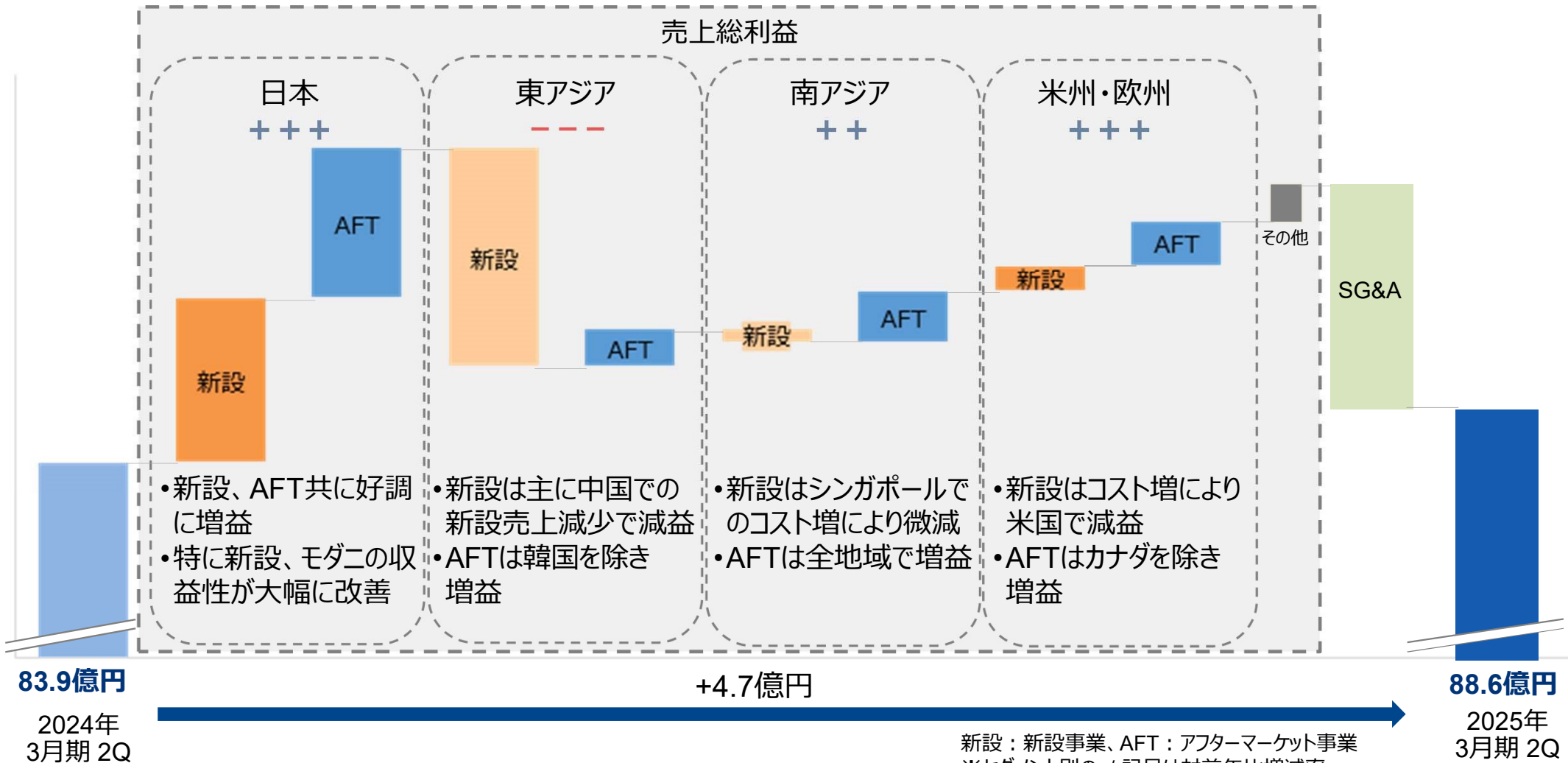
第2四半期 売上高ブレークダウン

中国が低迷する東アジアの新設を除き、いずれの地域でも新設、アフターマーケット事業共、好調に拡大



第2四半期 営業利益ブレークダウン

売上が減少した東アジアを除き、増益を達成。特に日本の増益額、利益率向上が貢献



- 新設、AFT共に好調に増益
- 特に新設、モダニの収益性が大幅に改善

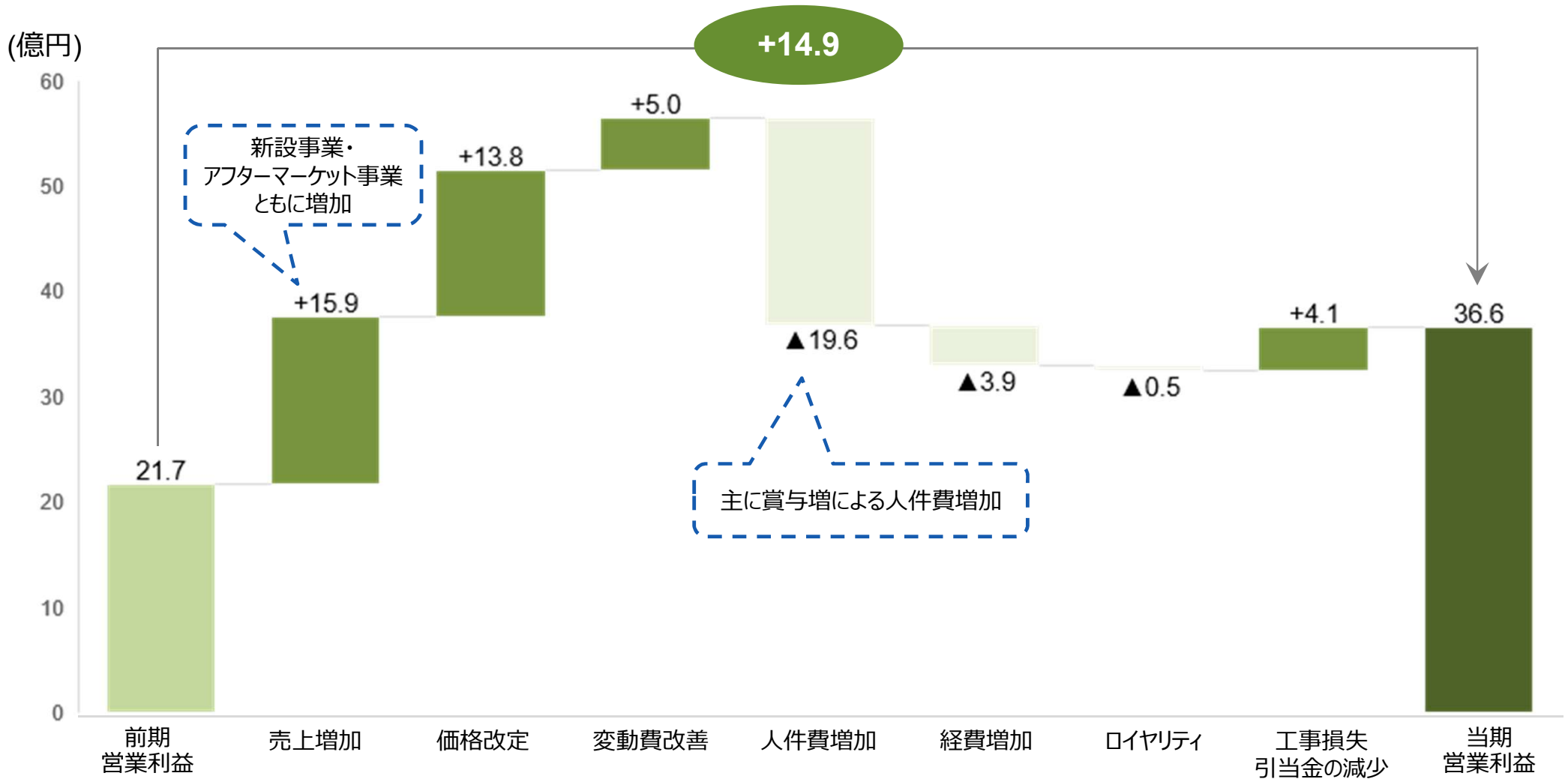
- 新設は主に中国での新設売上減少で減益
- AFTは韓国を除き増益

- 新設はシンガポールでのコスト増により微減
- AFTは全地域で増益

- 新設はコスト増により米国で減益
- AFTはカナダを除き増益

第2四半期営業利益の変動要因：日本

数量増加による売上増および価格改定やコストダウン推進等の収益性改善により大幅に増加



各地域で目標達成に向けた取り組みを推進

中国

新たな市場での事業拡大に向けた商品供給・販売体制の整備

- アドオン市場向け商品・ホームエレベータの投入開始、代理店拡大を開始
- 代理店施策の推進（従来代理店の整理とアフターマーケット事業拡大に向けた新規代理店選定開始）
- 削減予定人員の8割が退職完了、一時的に発生する関連費用は第3四半期に計上予定



アドオンエレベータ
REXIA-IN

北米

ミドルレンジ市場開拓のための商品投入

- メキシコ子会社のEEVI製部材を活用した機器の第一弾投入を開始

シンガポール

保守事業の収益性拡大のための取り組み

- 遠隔監視システム活用によるメンテナンス規格認証を取得

セーフネットセンター
(シンガポール)



インド

保守事業拡大に向けた体制の整備

- 保守事業向けのデジタルツール開発を開始
- インド市場向けの遠隔監視システム開発を開始

収益性向上施策

分科会にて取組みを継続

- 標準工法／メンテナンス生産性向上／BPR検討
- SG&A削減／調達・サプライチェーン最適化／標準機種開発他

ロボット連携システムを納入

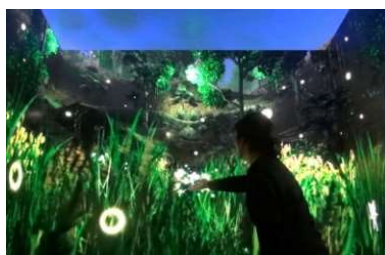


エレベータとロボットが連携する様子

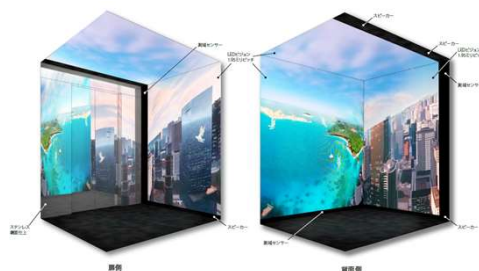
- 神奈川県横浜市の商業施設「ゆめが丘ソラトス」向けに、エレベータとロボットの連携システムを導入
- ロボットが自動でエレベータに乗り、施設内の飲食店で商品をピックアップして施設内のお客様に配達

「イマーシブ・エレベータ」で優秀賞を受賞

- LEDビジョンと音楽の融合により情緒的な体験を提供する「イマーシブ・エレベータ」で「デジタルサイネージアワード2024」XR／エンターテインメント部門で優秀賞を受賞
- 体験型移動スペースとして、エレベータ内の映像演出だけでなく、参加型要素を加え、新たなユーザー体験を提供可能



イマーシブエレベータの
搭乗・操作の様子



イマーシブエレベータの設置イメージ

Copyright 2024 Fujitec All Rights reserved

華昇フジテックがデザイン賞を受賞

- 華昇フジテックで独自開発したエレベータの行先階登録システム「DF-f」(Destination Floor Registration Unit)が「NY PRODUCT DESIGN AWARDS 2024」において銀賞を受賞



画像左：行先階登録システム「DF-f」と「DF-f」を据え付けたエレベータ乗場

画像右：「NY PRODUCT DESIGN AWARDS 2024」の賞状



新ユニホームの着用開始

- 従業員の働くモチベーション向上を目的に、日本においてユニホームを一新
- 『「人」が主役となるブランド』への進化を体現するユニホームとして、職種ごとに異なっていたデザインを全職種統一のデザインに変更



新ユニホームの着用イメージ

主な受注案件

新設

台北雙子星大樓 (Taipei Twins) (台湾)
エスカレータ160台



台北雙子星大樓
(Taipei Twins)
(台湾)

新設

Lotte Resort Ulsan &
Lotte Castle Blue Marina Residence (韓国)
エレベータ31台



Lotte Resort Ulsan &
Lotte Castle Blue
Marina Residence
(韓国)

モダンゼーション

Greenwood Terrace (香港)
エレベータ21台

モダンゼーション

Ching Wah Court (香港)
エレベータ30台



Ching Wah Court
(香港)

參考資料

連結貸借対照表

FUJITEC

(金額単位：百万円未満切捨)

	2024年3月31日	2024年9月30日	増減額	備考
流動資産	190,484	196,399	5,914	
現金及び預金	80,560	84,421	3,860	日本での増加
受取手形、売掛金及び契約資産	85,141	85,829	687	
棚卸資産	20,918	23,024	2,106	日本、東アジアでの増加
その他	7,653	7,125	▲528	
貸倒引当金	▲3,789	▲4,001	▲211	
固定資産	65,917	68,492	2,574	
有形固定資産	39,547	42,523	2,975	設備投資+4,002 減価償却費▲2,109 為替ほか+1,082
無形固定資産	6,036	5,879	▲156	
投資その他の資産	20,334	20,089	▲244	
総資産	256,402	264,892	8,489	
流動負債	84,304	87,351	3,047	前受金+3,356 支払手形及び買掛金+1,025 未払法人税等▲1,801
固定負債	6,921	6,893	▲28	
純資産	165,177	170,647	5,470	為替換算調整勘定+6,386 利益剰余金▲1,164
自己資本比率	57.9%	57.8%	▲0.1pt	
B P S	1,901.28円	1,961.53円	60.25円	

キャッシュフローの状況

(金額単位：百万円未満切捨)

	2024/3 2Q	2025/3 2Q	増減額
現金及び現金同等物 期首残高	31,463	38,987	7,523
営業活動キャッシュ・フロー	14,157	11,225	▲2,931
投資活動キャッシュ・フロー	▲3,198	13,372	16,570
フリーキャッシュ・フロー	10,959	24,597	13,638
財務活動キャッシュ・フロー	▲8,344	▲11,488	▲3,144
現金及び現金同等物 中間期末残高	35,680	55,436	19,755

主な納入実績

新設



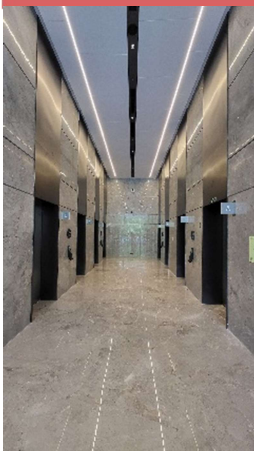
渋谷サクラステージ (日本・東京)
エレベータ48台、
エスカレータ54台

新設



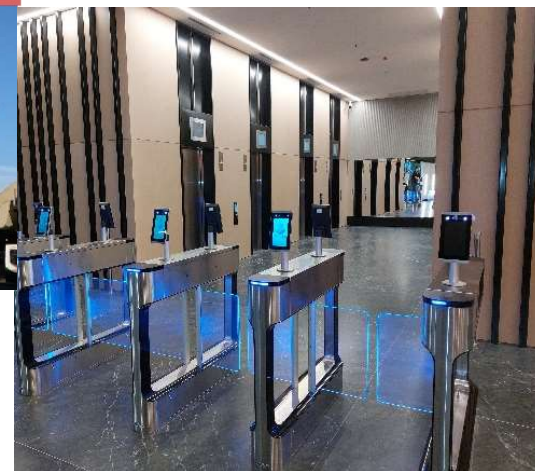
JPタワー大阪/KITTE大阪 (日本・大阪) エレベータ38台、エスカレータ38台

新設



Bluegrass Business Park (インド) エレベータ24台

新設



Distrito Quartier Puerto Retiro,
Edificio Plaza (アルゼンチン)
エレベータ18台

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場、2022年4月東証プライム市場移行)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数78,900,000株）
役員	代表取締役社長 原田 政佳 取締役：9名（うち社外6名） 監査役：4名（うち社外2名）
従業員数	連結 12,002名（単独 3,355名）
関係会社	39社（内、連結子会社24社） （日本、米州、東アジア、南アジア、欧州、中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

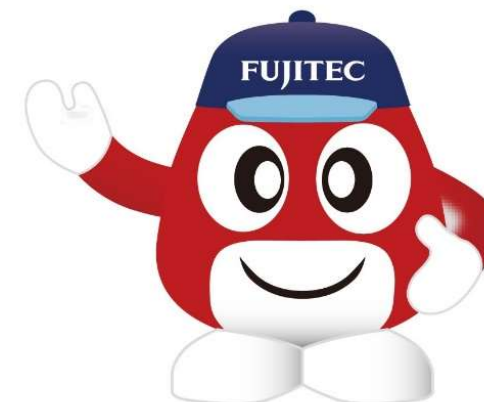
既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2024年11月8日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2024年11月8日

フジテック株式会社

2025年3月期第2四半期 連結業績概要



テッキー